

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	宮下ルリ子 教授
開 講 期 間	前期 (4月～5月)	開講曜日・時間	水曜5限 (16:30～18:00)
履 修 条 件		募 集 人 員	10名以内
教 室	未定	連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウイメンズヘルスの必要性、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) を説明できる。 2. 自分のジェンダーを知る。 3. 男女共同参画の施策を説明できる。 4. 月経にまつわる障害とその対処を説明できる。 5. 人工妊娠中絶と避妊の概要、女性の心理、論理的対応を説明できる。 6. 出産時の陣痛促進剤、会陰切開と女性の意思決定支援を説明できる。 7. 不妊治療やそのトレンド、不妊治療を受ける女性の心理およびその影響を説明できる。 8. ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害の概要、その影響要因、ケアの実際を説明できる。 9. 更年期女性の健康の概要、その対処を説明できる。 10. 障害のある女性の健康の権利やそのケアについて説明できる。 		
授 業 概 要	ジェンダーの視点で、乳幼児期、思春期、成熟期、更年期、老年期における女性の健康問題を考える。これらの内容を通して、女性が健康に生きていくことの理解を深める。さらに、女性の健康を社会的な視点からも捉え、社会問題としても考える。		
授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習 (準 備 学 習 含 む)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の女性センター／男女共同参画センターを訪問・見学を行う。 ・2回目以降、授業回毎にそのテーマに関する女性の声を書籍、Web、インタビューなどを用いる収集する。 		
授 業 計 画	※ 順番 (進度) は、1回目講義時に提示します。		
	1	ウイメンズヘルスとは/リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方、ジェンダーと女性の健康、男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割 (ゲスト: 神戸市 男女共同参画センター長)	
	2	月経にまつわる障害とその対処	
	3	人工妊娠中絶と避妊	
	4	陣痛促進剤、会陰切開とお産	
	5	不妊にまつわる悩み	
	6	ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害とケア	
	7	更年期女性の健康、障害のある女性の健康	
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーション評価 (30%) プレゼンテーションをしたい内容を選択し、当日3名がPPTを用いてプレゼンテーションを行う。(5～10分/人) 授業までにパワーポイント資料を提出。 ●女性センター／男女共同参画センターレポート (30%) 自分で決めた地域の女性センター／男女共同参画センターレポートの「テーマは①どこに行ったのか。センターの概要、②センターに行ったこと感想③センターが女性の健康に果たす役割を考える」 ●最終のレポート (40%) 科目内容の中からテーマを選んで、A42枚にまとめる 		
教 科 書	特になし		
参 考 図 書	<p>「女性の看護学」: メヂカルフレンド社 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」: メディカ出版 「ドメスティック・バイオレンスの視点」 朱鷺書房 これ以外の参考文献、参考資料などは授業中に指示します。プリント資料を配布します。</p>		
特 記 事 項	<p>講義だけでなく、ワークや視聴覚をたくさん取り入れたいと思っています。 社会の中で、女性自身も気づかない健康課題が山積しています。アンテナを高くもち、事象から分析する力を養ってください。 自分で決めた地域の女性センター／男女共同参画センターに見学に行ってください。そのセンターの研修を受講してみるのも理解を深めるひとつになります。</p>		